

# 溶媒

ページ	内容	タグ
N,N-ジメチルホルムアミド(DMF)	N,N-ジメチルホルムアミド(DMF) Name DMF Molecular Weight 73.0938 g/mol Molecular Formula XLogP-0.4d0.944 g/cm <sup>3</sup> m.p.-61 °Cb.p.153 °C 安全性0457 容器について DMFはプラスチックを溶解するため、実験に用いる容器の材質に注意する。	化学構造, 溶媒
n-ブタノール	n-ブタノール Name 1-butanol n-butanolMolecular Weight 74.1216g/mol Molecular Formula Density 0.81 g/cm <sup>3</sup> Solubility 7.7g/100 mL (20°C)m.p.-90 °Cb.p.117 °Csafety0111XLogP 0.9 リンク * ブタノール濃縮 化学構造 溶媒	化学構造, 溶媒
イソアミルアルコール	イソアミルアルコール Links * フェノール・クロロホルム抽出 * 化学物質安全性カード - 国立医薬品食品衛生研究所 溶媒	溶媒
イソプロパノール	イソプロパノール 1-プロパノールの異性体。無色の液体で、殺菌・消毒作用をもつ。アセトンやアセトン誘導体の合成過程で用いられ、溶媒・溶剤として用いられる。局所的な消毒に用いられる。	化学構造, 実験プロトコル, 溶媒
エタノール	エタノール 無色透明の液体。胃腸から速やかに吸収されて体に循環する。抗菌活性があるので、しばしば、局所的な消毒に使用される。溶媒や保存液として広く用いられ、アルコール飲料の成分でもある。	化学構造, 溶媒
エチレングリコール	エチレングリコール 不凍水溶液を作る際に広く用いられる溶媒。無色・無臭・粘性の高い溶液で、2つの水酸基をもつアルコール。甘味を持つが、有毒である。エチレングリコールは市販されているグリコールの中でもっとも重要で、米国で大量生産されている。冷媒のための不凍液や、油圧油、不凍ダイナマイト、樹脂として利用される。	化学構造, 溶媒
キシレン	キシレン Name xylene, dimethylbenzene Molecular Weight 106.165Molecular F.Name p-xylene o-xylene m-xylene 1,4-xylene 1,2-xylene 1,3-xylene PubChem Links * 化学物質安全性カード:p-xylene,o-xylene,m-xylene 化学構造 溶媒	化学構造, 溶媒
クロロホルム	クロロホルム 実験用の溶媒。過去には麻酔薬として用いられたこともあったが、発ガン性が指摘されたため使用が禁止された(アメリカ)。b.p. 61.15 - 61.70°Cm.p. -63.2 - -63.5°CICSC	溶媒, 化学構造
グリセロール	グリセロール 3つの水酸基を持つ糖。炭化水素や脂肪の代謝の中間体である。また、溶媒・皮膚軟化剤・製剤試薬・甘味料としても用いられる。Name Glycerol MeSH 68005990 Molecular weight	化学構造, 代謝反応, 溶媒
ジメチルスルホキシド(DMSO)	ジメチルスルホキシド(DMSO) 非常に極性の高い溶媒。細胞膜を通過することができるため、薬剤の局所適用の溶剤として用いられる。また、組織の凍結防止にも用いられる。DMSOは無痛覚・消炎といった範囲の薬剤活性も示す。	化学構造, 溶媒, 細胞膜
フェノール	フェノール 消毒、防腐剤。広い範囲の微生物(ある種のカビやウイルスを含む)に対して有効だが、孢子に対する効果は遅い。かつては皮膚の消毒やかゆみ止めに使われていた。b.p.	化学構造, 溶媒, 工業
プラスチック器具に使える溶媒	ポリエチレン	溶媒, プラスチック, 実験プロトコル
ベンゼン	ベンゼン 有毒で揮発性、可燃性の液体炭化水素で、石化炭化水素の蒸留段階で得られる。塗料・ニス・ラッカー薄め液・ガソリンなどの工業用の溶媒に使われる。ベンゼンは中枢神経系を激しく損傷し、骨髄に慢性的な損傷を引き起こし、発がん性物質でもある。かつては寄生虫駆除に使われていた。(MeSH:	溶媒, 発がん性, 化学構造

<a href="#">メタノール</a>	メタノール 無色・可燃性の液体で、フォルムアミドや酢酸の生産・有機化学合成・不凍溶媒のための溶媒として用いられる。メタノールは有毒であり、摂取により失明することがある。	<a href="#">化学構造</a> , <a href="#">溶媒</a>
<a href="#">モルホリン</a>	モルホリン <a href="#">化学構造</a> <a href="#">溶媒</a>	<a href="#">化学構造</a> , <a href="#">溶媒</a>
<a href="#">各種溶媒の比誘電率</a>	各種溶媒の比誘電率 溶媒比誘電率ホルムアミド110水78.30 (25°C) ()ジメチルスルホキシド(DMSO)48.9メタノール32.6エタノール24.3アセトン20.7アンモニア16.9クロロホルム4.8ジエチルエーテル4.3ベンゼン	<a href="#">溶媒</a>
<a href="#">酢酸</a>	酢酸 エタノールの酸化や木の分解蒸留で得られる、カルボン酸を持つ有機酸。酢酸は主に試薬として用いられ、刺激剤として用いられることもある。純度が高く含水量が少ないものは固体となるため、氷酢酸と呼ばれることがある。	<a href="#">化学構造</a> , <a href="#">溶媒</a> , <a href="#">酸</a>

From: <https://bio.edu-wiki.org/> - BioWiki

Permanent link: <https://bio.edu-wiki.org/tag/%E6%BA%B6%E5%AA%92>

Last update: 2014/02/16 10:38

